

風水害には

台風やゲリラ豪雨に備え、住宅の点検と非常持ち出し品の準備をしておきましょう！



災害時の連絡方法を知って おきましょう！

「災害用伝言ダイヤル (171)」は伝言の録音・再生をすることができます。

避難場所・避難経路等を確認しておきましょう！

各地区ごとに配布されている『八百津町土砂災害ハザードマップ』で避難場所や避難経路、危険箇所等を確認しておきましょう。



VS 地域 ~備える~

地域の自主防災組織に参加して、

いざという時に近所同士で助け合いましょう！

阪神・淡路大震災では家屋の倒壊、家具などの転倒により多くの方が下敷きになりました。しかし、その中で、多くの方が自力で脱出、あるいは家族や近隣の人によって救出されていることも事実です。さらに、東日本大震災では近所の高齢者の安否確認や避難所等への誘導など、自主防災組織が重要な役割を果たしています。



『自主防災組織』知っていますか？

自主防災組織は自治会単位で構成されており、身近な地域の人たちで結成され、町内には73の組織があります。

また、地域により救急救命講習や炊き出し訓練、消火訓練等さまざまな防災の取り組みがされています。

この「自分たちの地域は自分たちで守る活動」により、自分一人では、なかなか防災に取り組めない人が、地域の実行力を支えに取り組むことができるようになっていきます。

防災は自分の身を自分で守ることからスタート！！

防災は、自分のことだけにとどまりません、つながっています。自分を守れば、家族を守る行動に移せ、次に、近隣、地域を守る行動に移せます。この広がりがより多くの人を守る行動に広がります。

まずは、自分を守る備えをし、そして、地域を守る活動に参加しましょう。